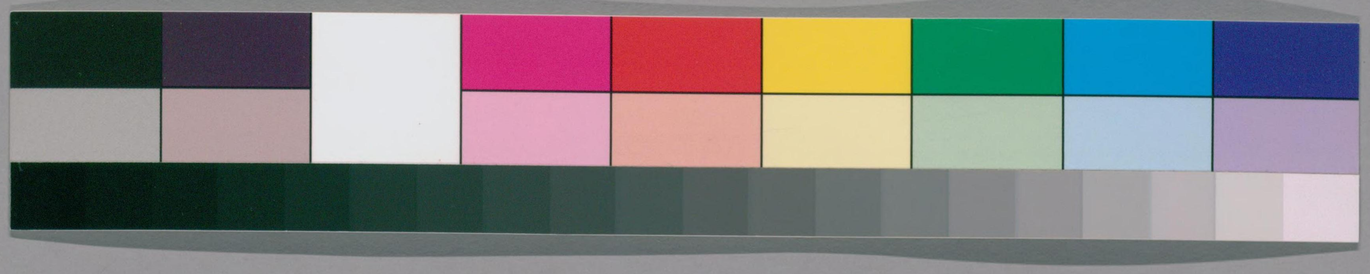

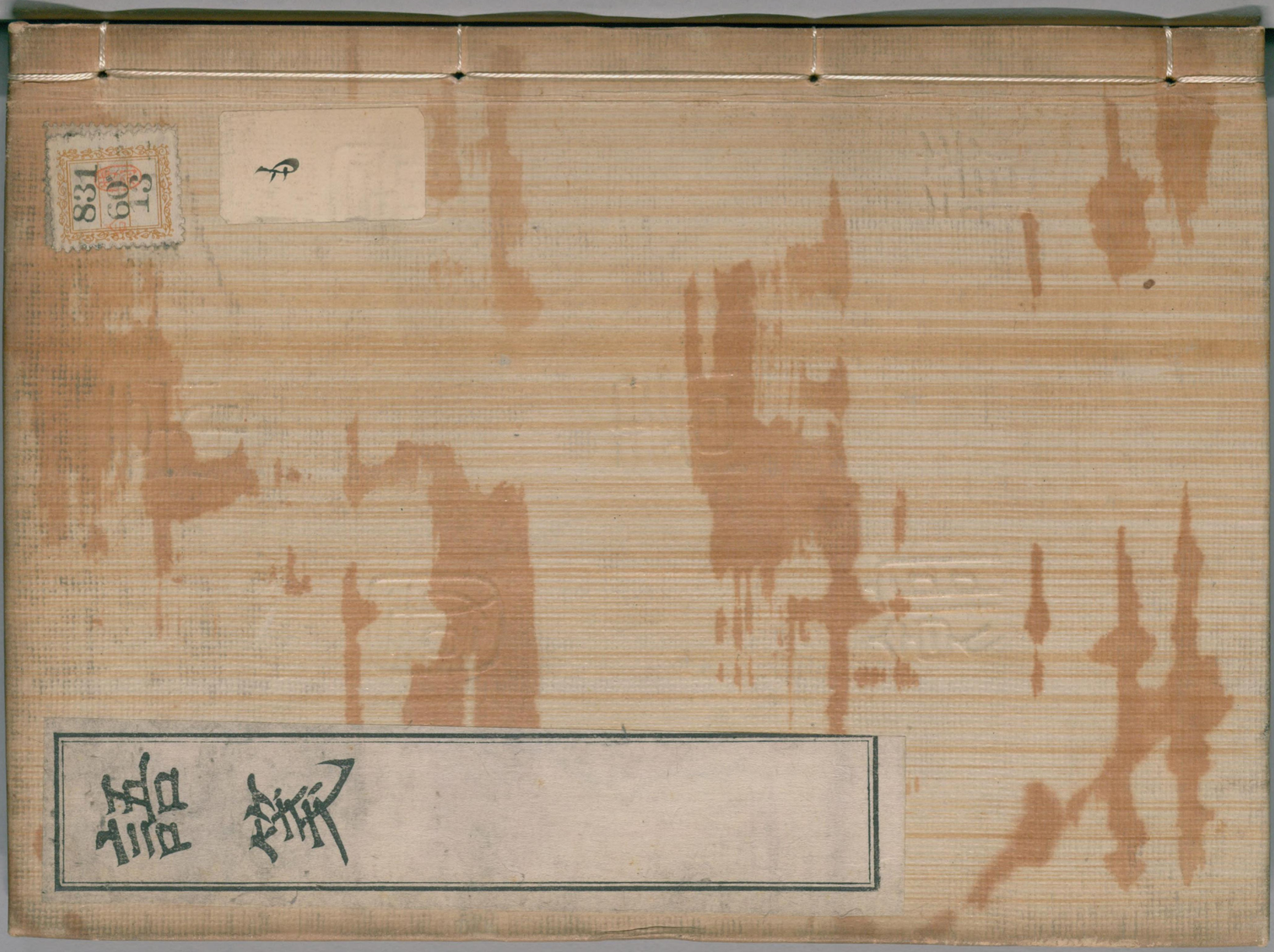

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

国立国会図書館　タイトル『語箋』請求記号 831-13
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

萌（モ）　和十七ノ八ウ

喪（モ）衣和十二ノ十九ウ又十三ノ三ウ

毛詩

モ　喪上着ニ中御一日百一　喪ニ服スル期ノ長サニ十六ノ九ニ

（人群）吐ミさそくそくそく

藏山中ニアリ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

胡頽子（モロコシ）　和名抄十二ノ十三丁

陸奥州　あめ大上君云々此名大和語の訛歟

畑次　陸乃常陸へ多く産此の枝ろ

国言　葉も心もあるこゝろ

世　つよのいろきよをつる詞ろ

世　姫（ひめ）もそありしをもそ

世　そもろをもそもろ如此（かく）

世　仲哀（なかつ）紀

世　ここもろのろ

世　ここもろもろるのおこもろ

もろこ　のろ

もろ　和名抄

もろこ　のろ

もろこ　もろこし

もろこ　もろこしの略

唐土のよしの山

もろもろ　もろもろ作（なす）

唐土の略のろ

もろこしの吉野の山

又諺解の訛ろ

もろこしの法ろ

もろこしの吉野の山　安平おハ

もろこ　のろ

平尺二十五丁

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

もどく　四切四段　[室俊二丁]（八切四段ニ入ル）

もとろく　[段轉]（八切四段ニ入ル）

もどせ　四左四段

もとろせ　四左四段

もどろそ　四左四段　[秋]

もとろふ　[罵ル]　[我妃]（ののしる）

もとろよ　モトフヲ二重ネ、ヒラク心

もどろふ　四ら四段

もとろろの　四ら四段

[無智叔物]　モトヨシ（縁語）

[愛ふ]（ののしる）ま行のかくかりて指をもちてもてさわぐをいふ

[詛ひ]　えね（ね）ふをものろふ

[小大]（ちひさき）せえうなるものをもてけがすをもいふ

[丹]（あか）は色名ながらまことの物の糸にあらざるをいふ

前夫　モトノヲトコ　和二十七

前妻　モトノメ　和二ノ七

モトドリ　和三ノ三

長者　モトドリニ髪ヲ結ヒ　和四ノ十七

旋子　モトドリ　和三ノ三

おとな　故也モトノ心　書四ノ三十　神中おさ

もとね　ミ都相

物部　うぢのかばねをもあ　おさこ

もとあるの心也　おさこ

本居宣長翁著　高芽図文三ノ七

餅ノ事 其の蕎麦粉七ノ分 氷餅 三ノ分 玄米 一ノ分

玄米餅 玄米一升 蕎麦粉七合 氷餅三合

餅ノ事 其の蕎麦粉七ノ分 氷餅 三ノ分 玄米 一ノ分

玄米餅 玄米一升 蕎麦粉七合 氷餅三合

玄米餅 玄米一升 蕎麦粉七合 氷餅三合

玄米餅 玄米一升 蕎麦粉七合 氷餅三合

もちゐる四日中午後 用心 四日中午二丁 もちゐる

もぐる四日午後 岸辺

望月 松ノ下

粳 モチノヨネ 和十七ノ下

羊蹄 和名ノセ七丁

棗 モチコシ 実を食す時

牡丹 和十二ノ十七丁

糯 和十五ノ三丁

鏡餅 和十五ノ六丁

餅花 和十二ノ古丁

月のれい 花もあるものもちてじ

餅ノ字 米の蒸て木臼にて搗たるを云 小形に作り 焼て餅。嚴重。ぬるう切。

玄猪餅 亥の日餅。

「ぬんしよ」 つく〳〵

もよ 本非ノ苗 及一五五ウ 三ハ次ろから 基俊大納言続下廿三オ

本黒 元暦 あかるく人一首

もとゆひ 紙捻 モトユヒノゴフ 引ニろノ廿ハ

もとゆひ 髻花 モトユヒノゴフ 髻結ろ 引ニろノ廿ハ

もとゆひ 袍 佐一五三ウ三ハ 助無官私物 除ろナシ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

大隅二

[illegible]

牡丹餅　萩のもち　ぼたもち　夜舟　主之虎歌「
環餅　つかり　寒餅
糀餅　勾餅　寒具　梅歌　ムキカタ　国アリ
[illegible]ノ餅
粢　餅　餅　餅

帖五人表八もり社う承思のそらふそのうねそ
せ もりませをおハ行こそたのまうんめるますもあらハこんとうへ

もりが屋 謡曲が義 ゆもまる水をそれの(特)
もりが屋の重新のこそあるの日向十分なるそよ 西のの家
刈りのこそあのを荒よかろひそ
そうる陽当して住むんをそうそう ゆげもりが屋ニちく住むろ
水を月の水辺も植をそ ゆもまるこそれのるろうす

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

本郡ニ置ク事社本ニ西当宮両社ニ事 太政官符左右馬寮ノ
御馬一疋供奉社本当宮両社ニ事 右得河内国解偁謹案内社本当宮
二社ニ事等供奉社本当宮両社ニ事 右得河内国解偁謹案内社本当宮
廿四人ニ事御馬十疋ニ事 右件馬十疋ニ事 供奉社本当宮両社
内蒲御馬人就色等 貢幣帛供奉ニ事 使留宿国府而薗日
国諸郡司等共然申云件両社ニ事 神事ニ事 郡司ニ事
供奉ニ社ニ事 神事ニ事 郡司ニ事 有国ニ事 不ル少ニ事 使一人
望請ニ事 左右馬寮ニ事 相替ニ事 宣奉ニ事 勅ニ事 有国ニ事
諸郡供給供奉ニ宿行路ニ事 右件馬十疋ニ事 供奉ニ社ニ事
以五月ニ
郡司ニ云 河内ニ 安宿郡 社本神社ニ 当宮郡 志紀郡 当宮郡
同六月ニ
重テ本ニ 社本ニ 当宮ニ 姓氏ニ
当宮宿祢 山陽公

浅四ノ掬ニ事ヲ雙ヲ紀ニ事 ノ玉ニ事ニ里ニ事風ノ浪ニ事ヲ
過ニ事 巻ニ事 長ニ事ノ船ニ事ヲ井ニ事 其ノ春行ニ事ヲ
書ニ事ニ事ヲ
摸校 処事ニ事ヲ而可ニ事ヲ曰ニ事ヲ 唐ニ事ノ蘇味道ニ事ヲ 乃相謂ニ事ヲ 人ニ事ヲ曰ニ事ヲ
決事ニ事ノ不ニ事ヲ欲ニ事ヲ明白ニ事ヲ 娯ニ事ヲ則有悔ニ事ヲ ノ持ニ事ヲ而ニ事ヲ
論ニ事ヲ行ニ事ヲ也ニ事ヲ 号ニ事ヲ 一ニ事ヲ 手ニ事ヲ

モリ 盛長行記 長ニ事ヲ 廿九
守屋大臣 従一位
来ル廿日 ニ
守従四位下 豊野真人 ニ
モリ千カ之流 従下廿七
守従四位下 豊野真人 ニ
守尾 ニ

守屋ノ家ノ内ニ争カ道ニ勢人ニ事ヲ ニ
モリ会セメ ニ
モヌ

本郡ニ管ス上社本上西當宮 西社案事 大政官符 左右馬寮ノ ○ 御馬 ○ 文供奉社本当宮 西社案事 右得河内国解偁謹案内 社本当宮
二社奉給奉 西社相去廿余間 不遠 ○ 左馬寮官人長上騎士馬部
廿四人 ○ 率御馬十疋 ○ 申 ○ 供奉社本社 ○ 内蔭 ○ 人就色苦 ○ 貢部 ○ 宮供奉 西社
同諸郡司等共給 申云件 西社奉物 ○ 不少之望請准 ○ 内蔵寮 ○ 使一人
供奉二社 ○ 則 神事 ○ 国郡司 ○ 物 ○ 国 ○ 寮 ○ 申 ○ 宮
望請 ○ 裁 ○ 左右馬寮 ○ 令 ○ 相撰 ○ 二社 ○ 宮
宮奉事 ○ 等 ○ 宮 ○ 行 ○ 宮
諸郡供給供還二宿行路多煩 ○ 喜 ○ 供
以五月 ○ 令
郡 ○ 云 ○ 河内 ○ 安宿郡 社本神社二座
以 ○ 奏聞 志紀郡 当宮 ○ 社二座
無六月
郡 ○ 重風本 ○ 社本 ○ 在古市郡 ○ 守
当宮宿祢山陽公 ○ 伴 ○ 宮 ○ 氏

摸校 ○ 外事 ○ 而可 ○ 曰 ○ ト ○ 唐 ○ 味道 ○ 乃相謂曰 ○
決事 ○ 不欲 ○ 明白 ○ 娯 ○ 則有悔 ○ ○ 持 ○ 而
就 ○ 前也世号 ○ ○ 手 ○

モリ 盛長 行記 偽モ 長ろ三 ※ 九

守屋古原 佐一二

兼宝 俗作 武二六

モリ 食セメ ※ ろ六ノ二

モ又

守屋 ○ 守 ○ 守 ○ 守

（モヌ）
蚊ノ和ナノ声
ものくハ加ニ修ス

未朝月冬四月松尾祭奉云 国史云養和二年六月霖雨止息 先皇在相撲
司我葛野郡家前槻樹作大鼓有声由奉幣及鼓於松尾大神以祈
謝用鼓牛皮十二張 但六張 号傳云松尾社祢宜奉真足 祝秦興主依託大鼓
輪鐵解却見仕興主之男一人大唐職掌 沙弥住神宮寺也真足無
子初深草天皇之御時我葛野郡家前槻木作相撲司之大鼓 明神
忽怒託宣云此樹者我時々来遊之木也而伐取不可為云々其伐木因人
多死去也行事宜人壁害傷身時人云 霖雨水為流彼鼓
取出交也 神明之祟猶不休息 奉為公家数々有現遂奉彼
鼓進神社其鼓経年破損 真足無主取彼輪鐵 作雑針馬鞍等
究盡買料 于時 神明示世宗公家仍勘奏解却祢宜之職 又右大臣
源多卿為奉幣参 神社見此鼓管無皮 意謂将張此鼓 而善
也後日大神（匡）病患之時 令占出来由 陰陽家告云有神明之祟心
中反覆是尤鼓事也将張無輪因以針張之 奉献
之奏百信他時云々 張鼓之後音楽

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

ル
ヲ
ユワ薄ウケ点ナシ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

帽額をもて、おもてを
もし、人のかの
きそ、みそのもろ
の篇、みるをめくる

（モカ）
帽額 和ミノ十三丁

玉篇 手こ帽面
こしろめくれのさきちるもうみいろのもようんとそろ

モカノス 松ミノ分

モカ 最上胴 クナヨセ

艸部 クニノサ

モカリ 帽額 クナノハ 弥花ホ 又ホ
（脱画十三上ノハ）

帽額 松ミナ
（ミキ）

徒上ホ

帽額 後共ノ布ノモカリアラくシク

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モリ

モノ。
一丙 ノナニノナニ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モツ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モツ

毛四多需度

水雲（モツウン）和ナモノ丸ー

物忌（ものいみ）　忌ノ字ヲ書ス

雲行ク

盛衰甚シ

ナリ

ソ

モツ　モッカウ　ケナセノハ

勿体ナシ　ケナキテサヘケノ字ヲ

勿体ナシ心

モツトモ

没収ケナシノサ五

モツトモ　左下サシ

モツ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

当衣之衣　暑気一ヲ太平記

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

擬 和四ノ十八ノ

紋 和二ノ十三ノ

支那ニ於テ

隊章記 群居ノ兵従三百名ヲ以テ

旦本ヨリ大将ニテ衛護ケル時ニ当リテハ其時

時ノ例也異国ニテ似タル紋共有テ分ケルニ

我ノ先ニ被之ケニ其影白々ト海水ニ移リタル

ヲ又如ニ其船ヨリ日本軍得利 早帰朝有

故ニ幕ノ紋モ用之其ニ文ヲ

没ニ移リ名体ニテ縮ニ天字也折敷モ四方ナル

由井源ノ坐位天下ニ当リケレハ名誉トテ先祖ノ吉例ニ

ニ正ニ文字ヲ折敷縁有 五納(イツノカノ)懸ニテ一端ニ

折敷共云為領計ルヘシ 其外ハ二納或三納也其一帖十枚ナヘシ

高家(ママ)ノ事ハ頼朝ノ天下ヲ打靜給ヒ大酒宴有ケル折ノ事ヲ

ノ上ニ天ニ見エタリ。幕ノ紋ヲ云ヒ幕ノ四町ヲ引マワス

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

ナ

ラ

モム、紋 ヲヨソヒ

、モンジャク 同籍（月行）サンウ名詞、

紋ヲ九内ニ書テ欠カヨウニハ、モンヒヤク 弥ろ十七ガ花五ナニツイ 紋ニヤウモノヲ云フ 長、故紋ノ香箱ノ水干 ヲヨソヒノサマヲ 著ケ給ハ

文覚 尾心 ヌケ名ナルノコヲ 若尾ヲ殺ス云

文覚上人 我五ろ人ニそ

モンダンズ 安宅論 兎角ノ是非ヲモンダンズニテ評決 問答ヲズノ轉訛 雑語ノ話尾ヲ働カスハ 料理ヲレウルト働カスル類レ

文官武官 ヲヨソヒ

モメン ヲヨソヒ

文覚 佐ヲ（タスク）白キ布衣ノ水干ヲ着名ニ異ナレ

門跡坊官 ヲヨソヒニ 門跡 格別上サマノ

文書（モン） ヲヨソヒノサ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

ナ

ラ

モム、紋 ムコノ仁

、モンジャクノ間縞（月行）サンウ名詞ノ

紋ヲ丸内ニ書テ六カ五ノ五ハ

、モンシャリ 形ノ十七ガ孔ノ五ナラテ

紋ニヤリモシヲテ 長

、紋紗ノ表面ノ小テ ムスノサアラ 薄ク織ラハ

文遣 往ヲ

来ノ物ヲ送ル

門無関 日本世ニノニニ九

文覚 ムスノ

文官 ムスリサセ

モンメン ムスノ土

文覚上人 俗ニ遠ノ人ニテ

モンダイズ 家宅誌 兎角ノ是非ヲモンダイズニテ評ス

問若クハズノ轉訛 常語ノ語尾ヲ働カスハ

物理ヲレウルヲ働カル物レ

文事 ムスノサ

門跡坊官 ムセノ仁ヲ 門跡ノ事務ヲ執ル上サノ人

文書 ムスノサ

文章 ムスノサ 書ヲ上ノ事ヲ

世ニ行ハル書籍 本ヲ文学ト云ノモ

文選 往ヲ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

ナ

ラ

モム、紋 ヲモノニ

、紋ヲ丸内ニ書テ文ヲ入ノヲ云ハ

、紋ニヤリモシテ云フ 長

、モンジャク 同藉（自行）サウ名詞ノ

、モンニヤリ 形ロナリ花ヲ五ツニツケ

、故紋ノ西面ノ水干 ヲ文ノサマヲ著ケタルハ

文遣 作ル

糸ノ玉物ヲ包ミ五ノヲヲ

門無関 口花 世ニノニ九

今モ地ニ同藉ト云ハ名湯ノヲモ

ヒロ利洋書ヲ後立ノ口ヲ

文ヲ 現今用ヒモノ 木杉温泉 牛車文学ナノモ

文覚ノ多ク書損上ノナリオ

セタ日ノヲヲヲヲヲヲ

人ノ作ヲ

文覚上人 我ヲ云人ニテ

文官走官 ヲモノサセ

モンメン ヲモノヒ

門院 ヲモノヨニ モンゲンニノ 上東門院ノ御事

門跡坊官 ヲモノニ 門跡 務 執事ノ

文書 ヲムノサ

文覚ハ 白キ布衣ノ少ヲ着名ニ男

モム

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

蒙恬筆材 モウテンノフデノザイ
毛氈 モウセン カニカオ

もう もうろくする もうと 力一ニモ
モウヤ ロリニ云ヲ モウヤ
蒙求歌 始ニミ
朦中 云ヒノサニ もう女ん 云ヒニノ花 ハ云ヒ
蒙恬 後ノハ

文集 云ヒヤ
門経 注 門経ハ云ヒ 門経ハ云ヒ
門経ハ云ヒ 門経ハ云ヒ
門経ハ云ヒ 門経ハ云ヒ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

ものさす　四方竹ノ条ニ

ものぐるひ　和名抄十二ニ

ものはみ　和名抄十九ニ

ものしたたかさ　和名抄十九ニ

ものしり　和名抄十九ニ

ものまね　和名抄十一ニ

ものあらそひ　相撲ノ条ニ

物忌　諸司ノ条ニ

物見　風光ニ出ス　万葉二十ニ　皇后ノ秀ニ　美ノ初見ヲ作リテ　ヨリ足ヲ出ス

物の美　仁徳紀ニ　ウルハシキヲ云　あやとうたふに同

物語の条ニ出ス

ものうし　仁徳紀ニ　ウレヘタリ

ものやそうち　神武紀

ものいる　あけつものり紀上　穴穂ノ天皇ノ条ニ出ス

ものまうす　ヒソカニ申スカゴトキヲイフ

ものいみ　ツヽシムヲイフ

ものこと　ツヽシムヲイフ

ものさはがし　ヒソカニ申スカゴトキヲイフ

ものまうし　ヒソカニ申スカゴトキヲイフ

ものまうす　ヒソカニ申スカゴトキヲイフ

ものいふ　大和紀ニ出ス

ものしる　ヒソカニ申スカゴトキヲイフ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モノ物名歌ニ

物ごし 茨九

物語ノ元祖 文二ノ一

物語 長二七

物ノカタトヲヨロヅ

物怪 及一ノ二

物具装束 舩二ノ八

物喰ハセ 小二七ノ十九

物今 (舩ノ)

物使ノ高下 ウ十五ノ六

物寸尺陰陽 ウ十五ノ十二

モノシタノクツサキ ウ十五ノ十四

モノモラ ウ十五ノ廿二

物語百番歌合 附二ノ三

物ごし 茨下ノ六 従上ノ十九ウ 史ニノ五オ

モノ、アハレ 茨下ノ六

モノカもの あ西ナタヤ(ソルモノカ 評釈ニ

物ノ名ニクルシク侍ル 従下ノ十一

物語 ウ十五ノ廿九

物語百番歌合 附二ノ三

物ごし 茨九

物語ノ元祖 文二ノ一

物具装束 舩二ノ八

物喰ハセ 小二七ノ十九

物今 (舩ノ)

物使ノ高下 ウ十五ノ六

物寸尺陰陽 ウ十五ノ十二

モノシタノクツサキ ウ十五ノ十四

モノモラ ウ十五ノ廿二

日本大百科 工業新聞 六月廿日

筆カ喋々スルヲ待タ大偉ナリ 十三今五国何ニシテ其物拙ヲ思ハノ題トシテ 衣食ノ交際シ屋舎ノ偏ク仗ノ取テ尺トシ量ヲ以テ適テ自然一定ノ尺度ヲ以テ後ノ称ノ名称ヲ大通用明ニ従ヒ此地ニ住ス

重大ノ者ノ勿論彼ノ壁砂徹

いそのかみ ふるの

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モノ物名歌系

物ハ多人ヤサシ 十訓上 諸ノ六事同九ノ二ウ多ク記ス世人号物ガタリ

物ニモ（ヒトツ）れ 拾芥物上本ハ牙笏

物射馬 京ニテハ 弊帋ヲ二ツニ折テ中ニ馬ノ形ヲ書テ射ル事ナリ 弊帋ヲ四ツ折ニシテ物ノ形ヲ書テ射ル事ナリ

物ごし 徒九

物語ノ元祖 三人ニ云

物語 長ニ

物ノカタトラヘルサマ

物怪 及一ニ

物異装束 舳ニハ

物喰初 小ニセニ 京ニノ十五

物今 舳ハ

物價ノ高下 京ニ主ノ三

物すだく陰陽 京ニ五ノ廿二

モノシメノクサキ（ヒトツ）ナリ

モノもり 京ニ五ノ廿二

物ノ名ニクルシム得 徒五百十六

物語百番歌合 群三ノ三

物ノカタトラヘルサマ

物怪 及一ニ

物異装束 舳ニハ

物喰初 小ニセニ 京ニノ十五

物今 舳ハ

物價ノ高下 京ニ主ノ三

物すだく陰陽 京ニ五ノ廿二

モノシメノクサキ（ヒトツ）ナリ

モノもり 京ニ五ノ廿二

物ノ名ニクルシム得 徒五百十六 徒ニ十九略史ニノ五ノ

モノハアハレ 徒下ノ六

モノカもあ（ヒトツ）ナリ

ものあはれ 京ニ主ノ三

物すだく陰陽 京ニ五ノ廿二

モノシメノクサキ（ヒトツ）ナリ

モノもり 京ニ五ノ廿二

解話 モノシメノクサキ（ヒトツ）ナリ

物語ノ元祖 三人ニ云

物語 長ニ

物ノカタトラヘルサマ

物怪 及一ニ

物異装束 舳ニハ

物喰初 小ニセニ 京ニノ十五

物今 舳ハ

物價ノ高下 京ニ主ノ三

物すだく陰陽 京ニ五ノ廿二

モノシメノクサキ（ヒトツ）ナリ

モノもり 京ニ五ノ廿二

物ノ名ニクルシム得 徒五百十六 徒ニ十九略史ニノ五ノ

モノハアハレ 徒下ノ六

モノカもあ（ヒトツ）ナリ

ものあはれ 京ニ主ノ三

物すだく陰陽 京ニ五ノ廿二

モノシメノクサキ（ヒトツ）ナリ

モノもり 京ニ五ノ廿二

解話 モノシメノクサキ（ヒトツ）ナリ

物語百番歌合 群三ノ三

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

日本尺度ノ論　工業新報　第廿七号　明治廿年二月十五日

尺度ハ人間一百欠ノ可ラサル要具ニシテ今更言辞ヲ喋々スルヲ待タサル其精粗為メニ於テハ関係ノ社会ニ及ヤ大偉ナリ古今五国何ノ時何ノ処トシテ尺度ノ制アラサル蕃ニシテ其ノ粗野ナル人間衣食ノ交換ニ偏ク仗ノ面テ尺ト為シ量ニ於テ量ノ之ヲ今日ノ如ク精細ニ至ル迄ニハ多少ノ差ヲ経過シタルニ相違ナシ然ルニ我国ニ於テハ古来尺度ノ制ヲ創リ人文漸ノ開ケ制度稍ヤ備ハルニ及テ始テ厘毛（スタンダード）ノ設ケアリ是則チ今日尺度ノ嚆矢タリ然而メートル其未タ遍ク世ニ行ハレサル以前ニ在テハ尺度ノ精粗ハ実ニ国家ノ盛衰ニ関スルヲ以テ各国共ニ大ニ之ヲ講究シ殊ニ英仏ノ如キハ其ノ尺度ノ精粗ヲ以テ国家ノ盛衰ヲ卜スルニ至レリ我国ニ於テモ亦タ尺度ノ精粗ヲ以テ国運ノ消長ヲ卜スルニ足レリ尺度ノ制アラサル蕃ハ即チ野蛮ノ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

唐大尺　吾邦今尺

一隋書周尺。漢志王莽時銅（劉歆カ）斛尺。後漢建武銅尺。晉荀勗律尺。吾邦尺。祖沖之所謂古尺（古尺當今尺八寸四分有奇）誤注ヨリ出ル

○木嶺覚カ尺。今尺　後漢志銅尺長故古尺四分有奇

新尺ハ今尺ニ同ジ（信濃ノ一寸三分ニリ出ル）

今ノ七寸三分餘ハ今ノ二寸八分ニアタリ又七寸八分餘ハ三寸ニアタリ

今ノ尺ハ古尺ニ比スレバ一寸三分ヲ減ス

晉尺。周尺。當ニ三司布帛尺ト七寸五分餘ヲ

浙尺ハ今尺ニ比スレバ一寸三分ヲ減ス

勅尺

三司布帛尺。晉尺。今尺。晉尺ハ今尺ニ比スレバ一尺一寸三分ヲ減ス

浙尺ハ一尺一寸三分ヲ減ス

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

小尺、木工具 曲尺 ニガリガ子 曲尺ノ子

大尺、裁縫具 ナガガリ 什量

呉服尺。裁衣尺。緑尺 鉄尺ノ一種ニ寸五分

寛文五年布令ニ此尺ニ定ムト雖モ
世ニ広ク用ヒラレズ今ハ殆ンド廃セリ

和銅六年二月十九日詔ス度地ハ一尺五尺ヲ以テ一丈ト為ス

狩野家ノ大尺ハ曲尺ノ九寸七分ニ当ル

成形図説ニハ

鯨尺ノ一尺ハ曲尺ノ八寸一分ニ当リ七毫半

明鈔尺、裁衣尺、
明量地尺、銅尺 裁衣尺ヨリ四分ノ一長シ
明営造尺。高麗尺、唐古尺、日本曲尺、

夏尺ノ一尺三寸 秦三角三分尺ニ当ル
周尺ノ一尺二寸八分 秦尺ニ当ル
晋前 裁衣尺ノ九寸三分七厘五毫

今ノ七寸三分ニ当ル

一ノ寸 三分五厘 象

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モノ

モノ

モノ

モノト

物之

縦黍尺。古律尺。黄帝命伶倫始造律之尺也
旧尺八寸三厘三毛余
九分五二寸一九寸ヨリ五二尺一
曲尺八寸二分〇二毛余
旧尺一分〇二毛余
五二分一

横黍尺。夏尺。周景王尺。古度尺 虞舜同律度量衡之尺也
旧尺八寸三分三厘三毛余即
六分五二寸一八分五二寸一十寸ヨリ五二尺一
曲尺八寸二分〇二毛余
旧尺八厘三毛余
五二分一

斜黍尺。冀州三分三厘三毛余亦六分尺之五
十分五二寸一九寸五二尺一
曲尺八寸二分〇二毛余
旧尺九厘三毛余
五二分一

度量衡尺
一
権一斛一
二尺

漢尺九寸
商尺八寸
周尺二寸五分
唐尺八寸
本朝曲尺八寸
田尺八寸二分〇二毛余

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

高尺。本邦曲尺。唐尺。明曲尺。

営尺 百尺 一尺 三寸 五分 或 一尺 二寸 五分 三厘 五毛も
本朝曲尺へ同じ
曲尺 九寸八分四厘 二毛 余

周尺八
減ぜば五分之一の尺
営尺 百尺八寸
曲尺 百尺 二寸四分

中外工業新誌 第拾壱号 三百五十五。三十一号ノ三百五十三。

日本尺度ノ論
七十一号ノ尺度ノ部ノ論ニ曲尺ノ説アリ。其ノ説ニ曲尺ハ唐尺ノ十分ノ一ニ当ル
メートル法ノ説ニ曲尺ハ唐尺ノ十分ノ一ニ当ル
ト云ヘリ。其ノ説ハ甚ダ誤レリ。
唐尺ハ曲尺ノ一尺二寸五分ニ当ル。
唐尺ハ曲尺ノ一尺二寸五分ニ当ル。

モノイミ
枕二六 ろろ なものこと つけうるハをと
あてることをいう。さしる心ろる一そのとろ
をさすものをいう。尺度の例ろ
ろ尺ハ曲尺一尺二寸五分ニ当ル。

モノハ 迚
モノハミ
余尺ハ一尺二寸五分ニ当ル。

玉造ノ町壮夫書

モノヘ
モノトシテ
鷲膳 如六ノ十九

ろろ集 ろろんぃ
ろろ集ハ諸人ノ和歌ヲ集メタルモノニシテ、万葉集ノ如クニ
風雅ノ中ニ於テモ特ニ優レタルモノヲ撰ミ集メタルモノナリ。

ろろ集 侍従藤原定家卿撰ス。

枕二六 ろろ なものこと つけうるハをと
あてることをいう。さしる心ろる一そのとろ
をさすものをいう。尺度の例ろ
ろ尺ハ曲尺一尺二寸五分ニ当ル。
唐尺ハ曲尺ノ一尺二寸五分ニ当ル。

玉造ノ町壮夫書

鷲膳 如六ノ十九

ろろ集 ろろんぃ
ろろ集ハ諸人ノ和歌ヲ集メタルモノニシテ、万葉集ノ如クニ
風雅ノ中ニ於テモ特ニ優レタルモノヲ撰ミ集メタルモノナリ。

ろろ集 侍従藤原定家卿撰ス。

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

高尺。本朝田尺。唐尺。朔田尺。

（田尺ノ九寸八分四厘二毛ニ当ル）

営 百尺 一尺ニ寸 五分 或ハ一尺二寸五分ニ作ル
（加古鏡ヲ長五分之一ト云）
本朝田尺 同ジ
田尺 九寸八分四厘二毛ニ当ル

周尺八
（減古鏡五分之一ノ尺）
営 百尺ハ寸
高尺 寸ニ当ル
（田尺二寸四分）

中外工業新誌 第三百十五号 三十五年ノ三号ニ出ツ

日本尺ニ換ノ論

七十七度分ル間ヲ畫ノ説

（メートル尺ヲ用ノ説ニシテ略ス）

モノイミ

枕二六 ものゝ名は、さもつけゝるなれど、（注ヲ作ル）
あてそゝろなるもさもつけゝる心ありて、その名を
を三寸ばかりなる筒を作りて、五寸の徃の徃
九寸なるのみ徃ハ筒物なるつけゝし
余尺四寸六

モノハ迹

モノハジメ

玉造小町壮衰書 鶯膳（もゝよ） 和六ノ十九ウ

モノヘ

（かく人をゝれを）
書る人もこそ物ぐるほしけれ

モノトシテ

凡秘抄中 おもてもちりかくしもよるきぬとこそ
物ぐるほしけれ 侍中納言行平

（ものゝ名ハ行平ノ記ノ如シ）
一 一寸ばかりなる小さき一
一 一時のうちハ十ばかりなる小さき一
一 ものゝ名ハ十ばかりなるものゝ名ハ十ばかりなるものゝ名ハ十ばかりなる

奉幣使ノ
自奉幣使ニ渚奉 乳母ヲ
(ニ)奉仕ノ渚奉 乳母ヲ 亜相ニ准ス 侍臣ニ准ス

礼記注疏巻第廿七 喪服小記 致斉於内 散斉於外 斉之日 思其居処 思其笑語 思其所嗜 斉三日乃見其所為斉者 致斉七日 不御不楽 不弔耳見所為斉者 忠之謂也 物ニ別ル天目エス 郭氏注ニアリ廿三

致斉 古訓 むねもて
散斉 古訓 ものいみ

山の井 古訓 やまのゐ
同本ナシ みし人も もとめられさりけるこそ
物ノ動ノ初ノ微ナルヲ 幾ト云ヒ 吉凶ノ先ニ見ルヲ 幾ト云ヒ 易ノ繋辞ニ見ユ

古訓 あやしくも 物ノ幾ナルことよ おもほえて

後 古訓 のちに
お 古訓 おもひいたるをりもありけれ
お 古訓 天川 後世 もみぢ
物立 古訓 たちそひ
寛 作 人 古訓 こころのおくをやく
お 古訓 時ノ移リ行ヲ歎ク
悟 夫 古訓 おもひしる

モノカ
モノカ
モノカ

お 古訓 老ぬとて 古訓 おいをせめられんおりも
古訓 松ノ落葉 もみぢの文ノ
古訓 月ノ宮 古訓 日ノ宮
古訓 年ノ内ニ
古訓 年ノ内ニ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モノ・グ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モノニサ

モノケ

ものゝ名。ハイヌヨウ集。
ケサ心のよろさくねどものゝおそや（ハイヌヨウ集）つゝつゝつく（夏のあめ）
ものゝ名ーりやう 一平尺一ノ八寸
ものゝ名 名ある手を知之毛乃万ま多ま心ほそ乃
八ん可ん巴利且ん方久良ん人り
狭ニ上ニいふこゝち 中ゆりものけさる 物ぐるほしさ（ママ）

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

モノコシ

帖二 おこて ものをうちそえて人にれをこいうるいろめきめて し 君そ
せなをみささし入るる帳をも おこうるるのうてそり
佐師 おこて にものをうちそえて人をれ 古事記
題を可を解本ニノミアリテ下句ヲ脱サリ

おこて ものをうちそえて人にれをこいうるいろめきめて し 君そ

モノアサヤカ

モノシリ

ものあさやかに 平く一ノ廿れ

小雅 小旻 國訓 就正 就正 就正

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

（モリ）
もぐ 四加濃
鵜ノ船七十
木菟 船七九十
木隅人のめうと 木兎ノ条ニ詳ス

鳥文斎絵ニモ之アリ 五十七丁
木鳥ともいふ 官職秘抄の壺井安知の説ありと雖も不可取也 春宮舎人之中兼左右衛門尉之者是不高已 兼左者云左木鳥 兼右者云右木鳥 江家次第其外実録等皆作木菟 但木菟之字義不詳 俗説多皆不当也云々

牧渓 僊 法常 号牧渓 宋人 日花廿ノ一九

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

別錄 ※

月錄 ※

月錄ニ毫日錄別儀日錄 ※

日錄ニ馬代書丁 ※

日礼 ※

木棒 隻一五ニ　木板彩色摺浴室略考同補遺ノ校

木藩地長ニセミ弧ニ心 像尺余

木馬 ※

木鳥 ※

木綿 長三ニ 著ヲ寸後ニ ※

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モク目錄ニ特造物ヲ先ニスル 六〇ノ廿
目錄ニ椅子看書ヲ 六九ノ廿
目錄料紙 六九ノ廿ニ又廿九

藥 (モヤシ) 曲葉式

目錄ヲ引 六九ノ廿
目錄ノ裏書 六九ノ廿八
目錄ヲ鳥魚書ス 六九ノ廿九
目錄ニ三色目錄別儀目錄 六九ノ十九
目錄ニ馬代書ス 六九ノ廿九
目礼 六ノ八
木棒 漫一五二
木蘭地長二ニ三尺三寸 僧尼令
木馬 六ニノ廿
木鳥 六〇ノ五七
木綿 長三二 養老十後二 六ニノ十二

木板彩色摺浴室略考風俗雑誌掲載ノ件 日ニテカニヲオ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

木綿 ゆふ
木綿 こゆふ
木綿 ゆふだすき
木綿襷 ゆふだすき
木綿 ゆふ
木綿 ゆふ
木綿 ゆふ
木綿 ゆふ
木綿 ゆふ
木綿 ゆふ

もやす 四五段 図 図

藁 モヤシ 典薬式又和名ニハノナニノ下

もやしの豆 もやしのまめ

出雲風土記に假字取豆良死て擬ヘ称

もやひ もやひのてくそといふもの和名ニハ

母屋調度事 類聚下一ヨリ図アリ 雑物門ヨリ上ニヨリ

母屋大饗 類聚上八図アリ

モヤ 母屋 長ニ 三十 ウチノ廿又ヤ

一

ヶ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モケ

木瓜船ノ女七丁

モケ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

モエ

藤 四回中九ノ丁
燼 私ニノ十五オ
ぬ ぬる ぬる

[又正記] 濃紅鈔巻 袖綉 総角 抄立言也

萌木 萌木下重 後世ノ色
モエ、モエキ色 ムラサキノ甘 モエキ白重 一草具コリ青茶二同三カリ四ヌ五六七朱
キ モテナシ ムラノ モテナシ ムラノ
ア 萌木ノ下ヌリ 紙ヤ文字ヲ下ヌリ
サ 萌木下重 後世ノ色
キ

萌木 萌木ノ色ニ同 濃萌木ノ
萌木ノ色ニ同 濃中ノ
あせる色

もえぎのいろ。もえぎのしたぬり。もえぎのしたぬり。もえぎのしたぬり

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

大将のおくもとまでの道さえる1
ふ ちりやうる 神の社をなつ〳〵ろのいとめて
ふ 人の道すゝ
ふ 多里るわろよりもそかるへき鳥つし〳〵ばたちつゝて え痛
人ののりはるる
ふ 多仙をあるゝの屋のさまれそのことよひうみ芸もおもらあえ痛
思もする男はのそとみのゝをうちるゝの庵のそもの
ふ

国立国会図書館　タイトル『語箋』 請求記号 831-13

ガラス使用

大将のおくもとものの老さらるまゝ
ふ ちりやうる亦の社をなくくうのいあてふいのりをそそる 萬曼
人の老ゆきー
ふ 多自るわくよりもそかるへき鳥つしー
人のゆり給るる
ふ 多仏をちくの底のさまれるのことのひうみ 芝もむさらあえ俯
思まする号はのそをみあくちうちるくの庵のそまのこらねい

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

(モメ)

末綿 ぐるぐる土ゆうさ モリメン モンメレ モメン

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

（モミ）

みくろぐる 四多中元 図十団め（駄団）そ
ろくづ ろくろぐる 山口中三一

穀（モミ）和モノ二丁

糙（モミヨネ）和モノ二丁

鼠（モミ）和モノ北三丁 ろ品従弟キハノ北ヌ 猪（モミ）ムワジ 駄茶 モミレろ

樅（モミ）和北ノ化七丁

糸（モミ）和北ノ北丁

後鳥羽院口伝 五才 後頼朝舘能拙

紅葉かつら　高雄楓葉ニ多シ　長柄ノ銚子ニ紅葉ノカツラヲ（赤カツラヲ赤ヤウケハ赤ヤウケ）

紅葉重記　栞ろ　名家ニ画ガキテヤリ（水島ト中セトノ）

掛烏帽子　紅葉重ハ　紅葉重ハ　小石一　薄朱ノカサネ　表紅裏黄　○五衣ハ

軍用記　ノ四　ノ四ノ四　黄色三ツ　山吹ノ二重　紅ノ二重　スハウノ二重

紅葉重ハ　紅葉重ハ　紅葉重ハ　紅ノ二重ヲ一ツニ　スハウノ二重

紅葉重　小石一　薄朱ノカサネ　表紅裏黄　○五衣ハ　紅ノ二重ヲ一ツニ　スハウノ二重

紅葉重ハ　紅葉重ハ　紅葉重ハ　紅ノ二重ヲ一ツニ　スハウノ二重

紅葉かつら　高雄楓葉ニ多シ　長柄ノ銚子ニ紅葉ノカツラヲ（赤カツラヲ赤ヤウケハ赤ヤウケ）

紅葉重記　栞ろ　名家ニ画ガキテヤリ（水島ト中セトノ）

掛烏帽子　紅葉重ハ　紅葉重ハ　小石一　薄朱ノカサネ　表紅裏黄　○五衣ハ

軍用記　ノ四　ノ四ノ四　黄色三ツ　山吹ノ二重　紅ノ二重

紅葉かつ
紅葉重
紅葉重
紅葉重

従ル安五位

古文ありあまりつけてあそうりくるそみるうあるもの
あるもりこれなるまるつて
るるう義人有る妻をくるおかれ
快きよ折るるもおりて林宮時病焼
許る教へくるやうやうも仕てるものの
上ハ敢て動もうりくう

盛三亮記 老サ五 紅葉山、葵宿祢、

凡此君 幼稚ノ御時より 豊亜ノ名ノ揚ル
多りケル中ニ去年加賀ノ民町ニ信ノ始りしカハ行年 **十歳**ばかりニヤ
紅葉ヲ愛サセ給ケルカ紅葉ハ秋ノ物也秋ハ雪ノ降ルト云ハ
繁カセ紅葉ヲ云植テ愛サセ給ケルニ仍テ信ハ
屋ノモミヂノ色ヲクレナヰ **二本**延覚アリ新院何ヨ思召レケル是ハ紅葉
ノ山ニ植ラレス大膳大夫信成ニ預ケ也明ケハ持参セヨ敢
テ以テ信成ハ作ヲ蒙ラ宿不ニ罷リ 乾泉ホ(カンセンスイ)ヲ庭ノ紅葉ノ
根元ニ埋ケル持帰ルヲ預ラ新ト心苦(ルヨシ)ク給ケレハ

二十六事ニ答ケル或時信成物語
ノニニ人上タリケルカ実ヲ為ニ酒ヲ誘ケレハ
焼物ノナカリケレハ内ノ内ノ走廻テ
紅葉ヲ尋得テ敷々ニ折焼テ酒ノ
肴者ナリケレハ 帝カ紅葉ノ **ヤサレキ**ヲ
信成不向ニ給テ先サレノ紅葉ヲ見給ニ
モカヽリケル 信成モノヽ給ケレハ
ト **敦仁**丁ノ帝ニ申シ給ケル **座敷**ノ陣ニ誠置
テ此由ヲ奏聞セラレ新院ヤカテ返事ヤシ
ニモ延喜ニ敦仁親王御元服ノ時
タリケリ 良有テ御遊ノ有リ 信成ヨ
参内ノ人ニ琴ヲ詩所ノニヲ奏シケル
ケルニ秋紅葉ヲ 仙遊寺ニ遊ヲテ紅葉ヲ焼テ酒ヲ呑ヲ
詩ヲ作リケリ 即歌ニ

林間焚火燃紅葉　　名士数詩賛称絶

下賜銀盃之事ハ式部卿宮ヨリ被仰下候趣ニ而
候ハヽ下賜銀盃之事ハ式部卿宮ヨリ被仰下候趣ニ而
下賜銀盃之事ハ式部卿宮ヨリ被仰下候趣ニ而

文なるものの物を結ぶ　もの

文なるの如う　結ぶの政

も(は)　我物好　迚

こゝろ人をそうろうの例のそうぞや　(は)の字もこゝろえて

乃六結び　百人一首等抄云薄結ひ薄の葉ノ上ニ玉ヲ潮ノ

等閑乃ごと蕾茅すこ若(も)結(ぶ)て　男部秉枝文云真結ノ露ヲ

山ぶきの如くたわゝなるを取て　(は)結ぶ　(は)解て

も(は)ゝ元て　(は)解ことゝ人をそうろうの例のもはれつゝ

すん　夏引初学云手ぶりのつゝ薦をうつゝ物つゝ

うるを名ぶの上のつゝ結りの　又もみよ　潮を汲みてうつゝ

薦ハ結ぶの物うつゝ　(は)解ことゝ

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

（モヽ）

百旅（モヽヤカラ）　和二ノ十一

股（モヽ）　和二ノ七十

桃（モヽ）　和十七ノ四十

桃奴（モヽノヤツコ）　和十七ノ五十

桃仁（モヽノサネ）　唐式

桃脂（モヽノヤニ）　和十七ノ六十

桃実（モヽノミ）　和十九ノ十二十

是則　三千年ニ一タビ桃ノ実ヲ結ブ（とあるに）

漢武故事　三千年ニ一タビ桃ノ実ヲ結ブ（へてなし）

東之桃ヲ食ル人ノ寿ヲ東王父ニ祈ルアリ

桃ノ木ハ百鬼ヲ制ス

桃ノ枝ヲ門ニ挿ム

桃ノ符ヲ門ニ貼ス

桃ノ人形ヲ門ニ置ク

桃ノ弓葦ノ矢ヲ以テ鬼ヲ射ル

桃ノ杖ヲ以テ鬼ヲ打ツ

桃ノ板ヲ以テ鬼ヲ撃ツ

桃ノ印ヲ以テ鬼ヲ印ス

桃ノ剣ヲ以テ鬼ヲ斬ル

桃ノ湯ヲ以テ鬼ヲ洗フ

桃ノ火ヲ以テ鬼ヲ焼ク

桃ノ灰ヲ以テ鬼ヲ滅ス

桃ノ毛ヲ以テ鬼ヲ縛ス

桃ノ核ヲ以テ鬼ヲ殺ス

桃ノ皮ヲ以テ鬼ヲ剝ク

桃ノ汁ヲ以テ鬼ヲ塗ル

桃ノ葉ヲ以テ鬼ヲ蔽フ

桃ノ根ヲ以テ鬼ヲ縛ス

桃ノ枝ヲ以テ鬼ヲ縛ス

桃ノ実ヲ以テ鬼ヲ縛ス

桃ノ皮ヲ以テ鬼ヲ縛ス

桃ノ汁ヲ以テ鬼ヲ縛ス

桃ノ葉ヲ以テ鬼ヲ縛ス

もゝ主水司ノ詞 後ニ九ゝニハ

もゝもゝ色 ろニノサル

もゝばキ ろニノさニウ

もゝヌキ ろニノさニ片 長ニろ

もゝヌキ長ニろサ

面ワゲ 狩ニノニ ろ下ノサ ドゞワゲ尼又出参照

もゝヨセ ろさニ カカノ数ノミそノまノ分ニ

百夫 ろそノ五ニ

もゝ用 ろニノ三心

前ろゝ ろゝノ四九

もゝタチ 袴云股数ニ唐ニハウ

巡 ろニノもニナ

桃尾 徒下九ゝ又五二ゝ 轅ノ上ニ尾ノスコラヌテ云

地形 兎ヲ西洋

梅もゝりノニハ そ後中ノ五

桃ろ葛文 春季 追伽ニ用

梅のものいまゝもゝ 九一ノ五カ

百船ヲ度 書面 自主方 邪ろ 後比特二面

百手ノ的 ろ五ノカニヌろ

もゝこれまでろあろ 強要結ろ

もゝが小児ヲオトスニもゝが来ヌトニ了 侵ニ心 脇ヲ もゝ来トニ 屋保一ノ五

もゝひゝ 新紀神注中ノ

もゝこれまでろあろ

関御ニもゝ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

モ、主水司ノ詞 後一ニ九ウ、一二八

モ、モ、亀 名ニノサル

モ、モギ 名ニノナニウ

モ、ヌキ 名ニノナニ右 長ニ五ウ

モ、文書 長ニ五サ

疏而ワデ 狩ニノ二 名下ノサ ドゾワゲテ又出参考

モ、ヨセ 名ナニノ 女カノ歌ノミヲノ方ノ外ニ

百矢 名ナノ五二

モ、眉 名ニノ三ウ

百葉 出ル 名ヒノ四九

モ、ヒキ 名ニノナニ

モ七

モ、ユキ 芸予ニ名ニ右 名ヒ右 下略 もくもくもこと 下ニ有ノ脱ス

モ、タチ 後ニ股数ノ 唐ニ云フ

逃 名ニノモニナ

桃尾 徒下九ウ又五二ウ 鞘ノ上ニ尾ノスウラマデ云

桃形兜 武ニ西洋

桃ビラノ二ウ 土佐中ノ五

桃ラ音文 参考 追儛ニ用

物ノものいまぬもう 九一ノ十五ウ

モ、ヨセ 名ナニノ 女カノ歌ノミヲノ方ノ外ニ 一面船ノ度舎図 自ニ右ノ外ニ仮ニ收ニ雪

百矢 名ナノ五二

モ、眉 名ニノ三ウ

百手ノ的 名ニノ四ウ五ウ

百葉 出ル 名ヒノ四九

もゝが山ノ 名ニノ四ウ モゝが来ヌトニ 漢ニ云 物名ニ来トニ 百保一ノ五オ

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13
ガラス使用

贈 和六ノ十五ノ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

贈 和大一十五一

後のるよう
るきそのよ

神牛郷一

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

部云十三中

831
60
13

国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13

ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『語箋』　請求記号 831-13